

# 令和5年度 公益財団法人滋賀県スポーツ協会 事業報告書

令和7年度に滋賀県で開催する「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会(以下「滋賀国スポ・障スポ」という。)」に向けて、県・市町・各団体の活動が本格化してきた。

当協会の管理している滋賀国スポの開・閉会式会場「彦根総合スポーツ公園」が開園し、オープン記念式典やアメリカンフットボール・サッカーの有料試合、桐生選手を招聘した陸上のイベント開催など、多くの県民が観る・参加するイベントが開催された。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、施設の利用制限も解除されたことで、県立スポーツ施設の利用者も徐々に増え始め、それに併せて施設での事業・教室参加者も以前に戻りつつある。

生涯スポーツの推進では、県民体育大会の名称を県民スポーツ大会に改称するとともに、子供を中心として家族で参加できるよう、新たに「交流の部」を設けるなどより親しみやすい大会に向けて検討した。また、総合型地域スポーツクラブへの活動支援として、登録・認証制度を開始し、組織の充実に寄与した。

競技力の向上では、スポーツ特別指導員を採用するとともに、県内企業所属選手を支援したことで、成年種別の獲得点が大幅に増加し、天皇杯17位、皇后杯15位と滋賀国スポにおける天皇杯獲得に一步近づく結果となった。また、ジュニア選手の強化事業として高校生トップアスリート支援事業を実施し、滋賀国スポで活躍する少年選手の活動支援を行ったほか、次世代発掘育成プロジェクトを実施し、国スポ終了後も滋賀県選手として活躍する選手の発掘にも努めた。

スポーツを取り巻く環境が大きく変化する中、本県のスポーツを統括する組織としてその中心的な役割を担うため、県および日本スポーツ協会と連携・協力し、情報提供や研修会の開催などを実施し、加盟団体の組織充実に向けた支援を行った。

## 公益目的事業

### I 県民総スポーツ普及・振興に関する事業

#### 1. 県民にスポーツの機会を提供する事業

##### 1) 県立スポーツ施設を活用したスポーツ振興事業

令和5年度より彦根総合スポーツ公園が開園し、それに伴い彦根では事業を拡充したため、令和4年度と比較して大幅に参加者が増加(1,016人)した。また、栗東体育館では外壁工事が完了し、幼児体験教室の回数を増加したため、参加者数が増加(1,139人)した。反面、スポーツ会館では、施設管理規模の縮小に伴い事業を減らしたため、参加者数が減少(2,488人)した。長浜ドームにおいても、照明の入れ替え工事の影響でグラウンド・ゴルフ教室の開催数が減少し、参加数も大幅に減少(2,438人)した。結果、全体としては前年度と比較して3,316名の減であった。

指定管理施設	スポーツ振興事業数	参加者数
県立スポーツ会館	4事業 (13)	874人 (3,362)
彦根総合スポーツ公園	10事業 (9)	1,955人 (939)
ウカルちゃんアリーナ(県立体育館)	9事業 (8)	4,811人 (4,249)
県立武道館	18事業 (18)	5,331人 (5,387)
関西みらいローイングセンター(琵琶湖漕艇場)	15事業 (12)	5,830人 (5,483)
長浜バイオ大学ドーム(長浜ドーム)	11事業 (11)	13,129人(15,567)
県立栗東体育館	8事業 (9)	3,727人 (2,588)
県立柳が崎ヨットハーバー	6事業 (6)	283人 (160)
県立アイスアリーナ	18事業 (18)	6,436人 (7,957)
合 計	99事業 (104)	42,376人(45,692)

( )は令和4年度実績

##### 2) 県立スポーツ施設(指定管理) 利用事業

###### ① スポーツの場を提供する施設

スポーツ振興事業同様に施設の新設および縮小に伴い、利用人数の増減があった。彦根総合スポーツ公園では、陸上競技の大会・練習の他に、サッカーやアメリカンフットボールの有料試合が開

催され、昨年度と比較して大幅な利用者増(88,006人)となった。反面、スポーツ会館では、利用時間・利用施設の縮小から利用人数が減少(15,852人)した。アイスアリーナにおいても、大型有料イベントが開催されたが、貸切利用者・一般滑走者が減少し、利用者が減少(9,655人)した。全体としては令和4年度と比較して62,802人増加した。

指定管理施設	利用者数	指定管理期間
県立スポーツ会館	25,491人 (41,343)	令和4年度～令和5年度
彦根総合スポーツ公園	124,227人 (36,221)	令和5年度～令和9年度
ウカルちゃんアリーナ(県立体育館)	89,060人 (90,096)	令和元年度～令和6年度
県立武道館	56,634人 (56,500)	令和元年度～令和6年度
関西みらいローイングセンター(琵琶湖漕艇場)	54,577人 (52,249)	令和3年度～令和7年度
長浜バイオ大学ドーム(長浜ドーム)	123,988人 (122,813)	令和元年度～令和6年度
県立栗東体育館	51,226人 (48,651)	令和3年度～令和7年度
県立柳が崎ヨットハーバー	18,439人 (23,312)	令和3年度～令和7年度
木下カセーアイスアリーナ(アイスアリーナ)	89,955人 (99,610)	令和3年度～令和7年度
合 計	633,597人 (570,795)	

( )内は令和4年度実績

### 3) 彦根総合スポーツ公園オープニングイベントの取り組み

2025年の滋賀国スポ・障スポの主会場となる競技場を広く周知し、多くの利用を促進するため各種イベントを実施した。

- |                                 |               |        |
|---------------------------------|---------------|--------|
| ① 第1回 CASTLE CARNIVAL in HIKONE | 令和5年4月22日(土)  | 950人   |
| ② 開園記念式典                        | 令和5年5月13日(土)  | 230人   |
| ③ 天皇杯JFA第103回全日本サッカー選手権大会       | 令和5年5月21日(日)  | 1,195人 |
| ④ Sprint 50 Challenge           | 令和5年11月23日(祝) | 717人   |

### 4) ラジオ体操普及推進事業

気軽に体操を実施することができるきっかけづくりや実施環境の整備に向けて本協会各事業所において積極的に啓発した。

関西みらいローイングセンターやウカルちゃんアリーナ、HPLベースボールパーク、長浜バイオ大学ドームの自主事業(グラウンドゴルフ教室等)、で参加者の準備運動として実施した。また、木下カセーアイスアリーナでは毎日開館時にラジオ体操を流し啓発した。

令和5年度新たに本協会から2名の職員がラジオ体操講習会に参加し、指導員資格を取得した。

### 5) 広報・情報提供事業、エフエム滋賀 番組情報提供事業

#### ① スポーツ情報誌、「Bispo!+」の発行等

滋賀の総合的なスポーツ情報誌「Bispo!+」を発行し、広くスポーツの意義、素晴らしさを発信するとともに、滋賀のスポーツを応援する人、団体、企業等の輪を広げる情報提供事業を展開した。

- ・スポーツ情報誌「Bispo!+」については、滋賀にゆかりのあるアスリートや地域スポーツ情報など幅広い内容を掲載して、誌面充実を図った。県内企業、金融機関、病院、理容店、美容店、イトマンスイミングスクール、イオン、平和堂、ローソン各店舗などへの配置のほか、新たに滋賀県農業協同組合各支所にも配布し、より多くの人やスポーツに関心のなかった方にも手にとっていただけるよう、情報発信に努めた。
- ・「倶楽部ナビ」については、滋賀の総合型地域スポーツクラブのガイドブックとして、県内55クラブの情報をまとめ各クラブ、市町生涯スポーツ担当部局、県内スポーツ施設等に配布し、クラブの活動を紹介していただけるよう情報発信に努めた。

情報提供媒体	発行回数	内 容 ・ 発 行 部 数	
スポーツ情報誌「Bispo! +」	3回	Vol. 35 (9/30発行) Vol. 36 (12/31発行) Vol. 37 (3/25発行)	各18,000部
ホームページバナー広告	通 年	本会ホームページ広告掲載	16社
総合型「倶楽部ナビ」の発行	1回	県内クラブ情報掲載	300部

## ②エフエム滋賀 番組情報提供事業

(県スポーツ協会、県文化スポーツ部からの情報提供。県スポーツ協会と民間企業の財源提供)  
滋賀国スポ・障スポ開催に向けて、エフエム滋賀の番組を通じて、滋賀県のスポーツ情報やスポーツ選手の活躍・素顔を紹介し、県民の皆さんによりスポーツの魅力を理解いただき、両大会開催の気運を高めるよう努めた。

(番組概要) 毎週金曜日午後のワイド番組「DIVER」の中で約10分間放送

(当協会からの出演は計9回：特別指導員6回、施設・生涯スポーツ関係3回)

## ③新ポータルサイトによる情報発信の拡大

令和5年12月より、県内スポーツの情報発信をより多く発信できるよう「スポタル滋賀版」への情報掲載を開始した。登録団体数：17団体（令和6年3月末時点）

## 6) 表彰事業

滋賀県スポーツ協会表彰規程および同表彰基準に基づき、本県スポーツの普及振興に功績顕著な者および競技力向上に貢献した個人・団体を表彰した。

表彰式 令和5年11月21日（火） びわ湖大津プリンスホテル 2階コンベンションホール淡海

スポーツ功労賞	10名	スポーツ奨励賞	22名	優秀指導者賞	1名
優秀選手賞	4名	生涯スポーツ賞	3名	スポーツ優良団体	1団体
				合計	個人40名 1団体

## 7) チーム滋賀応援プロジェクト事業

「TEAM SHIGA」のポロシャツをスポーツ関係者等に販売した。また、令和5年度は滋賀国スポ機運醸成のため、キャップ・チャップのキャラクター入りも作成した。（820枚作成、うち220枚キャラクター入り）

売上げの一部を「元気キッズ応援チャリティーコンペ」の収益と合わせて、県内の子どもたちのスポーツ環境づくりの一助となるよう、小学校等へのスポーツ用具提供を行った。

◎提供用具	ティーボールセット	12校(申請29校)	
	タグベルト	2校(申請5校)	
	ステップカラーラバーリング	2校(申請7校)	
	バックウエイトハードル	2校(申請6校)	
	ジャベリックボール	7校(申請15校)	計25校

## 8) 障害者スポーツ推進事業交付金事業

滋賀県障害者スポーツ協会が実施するアドバイザー設置事業、生涯スポーツ事業、競技スポーツ振興事業、指導者養成事業を支援した。

## 9) 県小学校記録会補助事業（水泳記録会・陸上記録会）

- ・ 令和5年度滋賀県小学校陸上記録会 令和5年10月28日（土）平和堂 HATO スタジアム  
対象 県内6年生 385名
- ・ 令和5年度滋賀県小学校水泳記録会 中止

## 2. 各種スポーツ大会を通じスポーツの社会的な価値を創造する事業

### 1) 県民総スポーツの祭典(実行委員会で開催)

県民参加型の「県民総スポーツの祭典」として7部門で開催し、総参加人数は、35,682人であった。

大会名	開催期日	会場	参加者数等
第76回県民スポーツ大会の部	4月～3月	県下全域	一般 5,985人 高校 9,541人 中学 7,582人 合計 23,108人
スポーツ・レクリエーション大会の部	4月～3月	県下全域	合計 3,021人
レクリエーション大会の部	7/16	守山市	キンボールスポーツ 93人
	9/ 9	栗東市	スローイング・ヒンゴ 117人
	10/ 7	草津市	ディスクン 52人
	10/22	湖南市	スポーツチャンバラ 20人
	11/ 5	大津市	インディアカ 50人
	11/ 5	草津市	マレットゴルフ 180人
	11/26	野洲市	フライングディスク 40人
	11/ 7	野洲市	レクリエーション交流会 27人 合計 579人
県内総合型地域 スポーツクラブ交流大会の部	9/10	豊郷町	ビーチボール 77人
	10/ 1	長浜市	ユニカール 67人
	11/15	東近江市	ウォーキング 12人
	11/25	野洲市	グラウンド・ゴルフ 82人
	12/14	甲賀市	ゴルフ 42人
	2/11	甲賀市	カーリング 100人 卓球 中止 合計 380人
びわ湖駅伝スポーツフェスティバルの部	11/19	野洲市 (希望が丘文化公園)	駅伝競技の部 955人 競技体験等の部 126人 合計 1,081人
県障害者スポーツ大会の部	6月～11月	県下全域	スポーツフェスタの部 203人 全国大会選考会の部 682人 合計 885人
びわ湖マラソンの部	3/10	大津市、草津市 守山市	スタート数 6,628人 (県内) (2,251人)
合 計			35,682人

- ・ 県民スポーツ大会一般の部においては、46競技を開催し、5競技において中止となった。高校の部においては35競技、中学の部は21競技を開催した。
- ・ スポーツ・レクリエーション大会の部については、29種目中25種目を開催した。
- ・ レクリエーション大会の部では、全ての種目で開催した。
- ・ 県内総合型地域スポーツクラブ交流大会の部では、7種目中6種目を開催した。
- ・ びわ湖駅伝スポーツフェスティバルの部においては、すべての種目で開催した。
- ・ 県障害者スポーツ大会の部では、スポーツフェスタの部は4種目を開催し、全国大会選考会の部は、11種目を開催した。

## 2) びわ湖駅伝スポーツフェスティバル 2024

令和 5 年 11 月 19 日 (日) 希望が丘文化公園

駅伝競走の部 参加者数 (チーム数) : 955 人 (139 チーム) (令和 4 年度 952 (132 チーム))  
スポーツ体験 参加者数 : 126 人 (令和 4 年度 30 人)

## 3) びわ湖マラソン 2024 (実行委員会形式)

令和 6 年 3 月 10 日 (日) 8:20 スタート (制限時間 6 時間)

46 都道府県から 7,593 人のエントリーがあった。(県内 2,251 人) スタート数は 6,628 人、  
完走数は 6,232 人であった。

大会後に実施したランナーへのアンケートでは、大会満足度において 9 割以上が「よかった」と回答した。

## 4) 元気キッズ応援チャリティーゴルフコンペ

令和 5 年 6 月 29 日 (木) 甲賀カントリー倶楽部 101 人

令和 5 年 9 月 26 日 (火) 近江カントリー倶楽部 103 人

生涯スポーツとしてのゴルフ競技の普及振興を目的に実施した。

また、県内の子どもたちのスポーツ環境づくりの一助となるよう、参加者の寄付金で小学校等にスポーツ用具を提供した。

(前掲「チーム滋賀応援プロジェクト事業」ポロシャツ販売との合同事業)

## 3. 地域スポーツの促進支援事業

### 1) スポーツ少年団育成事業

スポーツによる青少年育成の理念を発信すると共に、団員数の減少という課題に対応するため、市町間の情報交換を図り、事業内容の充実や加入促進に向けた市町の活動について検討を進めた。令和 5 年度は、宿泊活動ができるようになり、事業はコロナ前とほぼ同内容で実施した。

指導者資格取得のための日本スポーツ協会スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会は 3 会場の集合講習とオンライン講習を 2 コースで実施した。

また、市町や指導者およびリーダー会等が行っている組織充実事業、育成事業、交流会開催事業についても計画通り実施した。

### スポーツ少年団加入状況

年 度	加盟市町村	加盟単位団	団 員	指導者	役員	スタッフ
令和5年度	19市町	381団	11,748人	2,083人	170人	823人
令和4年度	19市町	392団	11,855人	2,267人	169人	874人

### ①組織充実事業

各 種 事 業	開催日等	会 場	参加者数等
指導者協議会研修大会	2/3	県立男女共同参画センター	219人
滋賀県リーダー会県内中学生交流会	3/17	平野コミュニティセンター	4人
スタートコーチ(スポ少)養成講習会	9/30~1/27	大津ピアザ淡海等	221人
女性のつどい	7/1	近江八幡市立文化会館	78人
滋賀県リーダー会他府県交流会	3/9~10	希望が丘文化公園青年の城	18人

②育成事業

各種事業	開催日等	会場	参加者数等
滋賀県スポーツ少年団表彰式	2/3	県立男女共同参画センター	受賞者 28人、8団
育成母集団研修大会	10/14	能登川コミュニティセンター	104人
ジュニア・リーダースクール	12/9・10 1泊2日	希望が丘文化公園青年の城	団員17人
市町スポーツ少年団育成補助事業	4/1～ 2/28	ア 育成会(母集団)研修活動 イ 地域交流活動事業 ウ 運動適性テスト実施事業 エ モデル少年団育成事業	11市3町(14/19市町) 12市4町(16/19市町) 9市3町(12/19市町) 6市(6/19市町)

③交流開催事業

各種事業	開催日等	会場	参加者数等
第56回滋賀県スポーツ少年大会	8/18～20 2泊3日	希望が丘文化公園青年の城	団員68人
第55回近畿スポーツ少年大会	8/17～19	京都府立青少年海洋センターマリニア	団員:9 リーダー:1 指導者:1
第50回日独同時交流事業(派遣) 〃 (受入)	7/27～8/13 8/5～9	ドイツ 彦根市	滋賀県参加者なし 受入人数:5人
2023年日独指導者交流(派遣)	10/30～11/12	ドイツ	指導者1人

④アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)普及事業(3歳～5歳の登録者 115人 前年比+11人)

事業名	開催日等	会場	参加者数等
都道府県普及促進研修会	11/4	アクティ近江八幡	参加者14人(内更新研修11人)
県内普及活動	6/10～2/18	県内各会場	計10回のべ608人

2) 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

広域スポーツセンターでは、だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる環境づくりのため、県民が身近で自主運営を行うことのできる総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援を行った。

①広域スポーツセンター運営事業(県受託事業)

「自己点検・評価表」を活用することで、クラブの現状を把握し、改善に向けた取組のための点検・評価を定期的に行い、PDC Aサイクルの実践と定着に繋がった。身近にスポーツ文化を豊かに享受できる環境を整えるため、クラブ未設置地域に対して総合型クラブの設置に向けた指導助言を行った。〔未設置：日野町、甲良町〕

地域スポーツ指導者研修会については、総合型地域スポーツクラブスタッフ、中学校運動部外部指導者、競技団体指導者等が参加し、指導者の資質向上に努めた。

地域の課題である「子育て世代の運動参加促進」と「子どもの体力低下」の解決を図るため、高島市内のこども園、日野町立の公立幼保園に指導者を派遣し、延べ619名の子どもを対象に「運動遊びプログラムPic」を行った。また、指導者資質向上のため「運動遊びプログラムPic」をもとに、プレイリーダー養成講習会を開催した。

各種事業	活動日等	会場および参加人数等
総合型地域スポーツクラブ および市町巡回指導・調査	年間	17市町を訪問 訪問回数 計 87回
総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会	6/28 10/25 3/12	会場：平和堂HATOスタジアム 会議室 滋賀県立武道館 大会議室 滋賀県立武道館 大会議室 計 105人
地域スポーツ指導者研修会	11/11 12/10 12/16	会場：滋賀県立武道館 大会議室 能登川コミュニティセンター別館 長浜バイオ大学ドーム 研修室 計 53人

日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成コース	2/17～18	会場：滋賀県立男女共同参画センター	計 20人
プレイリーダー養成講習会	3/12	会場：滋賀県立武道館 大会議室	計 35人

②中間支援組織運営事業（登録・認証制度運用事業）

登録・認証制度の開始により登録審査会を実施し県内 55 クラブ中 29 クラブが登録クラブとして認証された。

3) スポーツ指導者の育成・活用促進事業

①スポーツ指導者情報提供システム

指導者が常に最新の情報を得て能力を高め、より一層の資質向上に努めることができるよう、公認スポーツ指導者に対して、スポーツに関わる様々な情報をリアルタイムに提供した。また、新たな登録者確保のためシステムへの登録促進を図った。

②公認スポーツ指導者資格更新研修会

公認スポーツ指導者の新規養成事業である指導員養成講習会と、有資格者の資格更新のための義務研修である滋賀県スポーツ指導者研修会を加盟競技団体や滋賀県スポーツ指導者協議会と協働して実施した。

各種事業	開催日等	会場	参加人数
第1回滋賀県スポーツ指導者研修会	9/16(土)	草津市立市民交流プラザ 大会議室	103人
第2回滋賀県スポーツ指導者研修会	1/14(日)	ピアザ淡海（ピアザホール）	116人

③2025 滋賀国スポ記念講演会

令和6年1月14日(日) ピアザ淡海（ピアザホール） 116人

2025年に開催される滋賀国スポに興味・関心を持っていただき、「する・みる・支える」大会の実現に向けた機運を高めること、およびスポーツ指導者の指導力向上・指導者間の情報交換やネットワークづくりを目的に実施した。

講演Ⅰ「グッドプレーヤーを育てるグッドコーチとは」

坂口 春美氏（大阪医専、JSP0 コーチデベロッパ）

講演Ⅱ「スポーツ現場での危機管理体制：救急対応とEAP」

八田 倫子氏（スポーツセーフティージャパン）

講演Ⅲ「私が考える良き指導者とは？」

松田 丈志氏（元競泳選手、JOC 理事・アスリート委員会委員長）

4) 企業との協働事業

企業スポーツ振興協議会

企業スポーツ振興協議会として新たな会員獲得に努め、会員数は令和4年度333社から令和5年度350社(入会24社、退会7社)に増加した。

①表彰事業

・永年協力表彰

永年にわたり会員として協力している企業を表彰 7社

・選手派遣協力表彰

永年にわたり国民スポーツ大会（近畿ブロック大会を含む）に、選手等を派遣する企業を表彰 3社

## ②選手支援事業

### ・輝く企業選手支援事業

会員企業に所属する本県の選手・チームに対し、競技力向上のための活動を助成

個人 13 名、団体 3 部

### ・企業スポーツ部設立支援事業

新たに設立された会員企業競技スポーツ部に、活動環境の整備費等を助成 2 社

### ・滋賀国スポ活躍選手等支援事業

2025 滋賀国スポ入賞に向けて会員企業に雇用された選手・指導者を助成 選手 6 名

## 5) 大学等連携事業

・インターンシップ受入 事務局本部 大学生 2 名

関西みらいローイングセンター 大学生 1 名

## 6) その他の事業

### ①スポーツ施設運営士養成講習会（日本スポーツ施設協会公認資格取得講習会）

令和 6 年 1 月 18 日～19 日 県立武道館 参加者：24 人

### ②滋賀県スポーツ団体等新型コロナウイルス感染症対策支援事業（県受託事業）

令和 4 年度から引き続き、令和 5 年度上半期（9 月末）において、新型コロナウイルス感染症の影響で中止・縮小された各団体のスポーツ活動に対し、活動再開にあたっての感染症拡大防止対策に要する経費を補助した。 補助件数 16 件

### ③スポーツ安全普及活動等委託事業

スポーツ安全保険の広報・普及活動等

## II 競技力の総合的な向上に関する事業

### 1. スポーツ育成・強化対策事業

本県の競技力を総合的に向上するため、競技団体の育成強化、ジュニア世代の育成、優秀指導者の育成を柱として各種事業を実施した。

#### 1) 競技団体の育成強化

滋賀国スポを契機として県内競技団体の競技力向上につながる事業に取り組んだ。県競技力向上対策本部へ本協会役・職員の派遣を行うことで、これまで本協会が培ってきた競技団体との連携や競技力向上対策等に係る経験と実績を活かし、競技力分析および競技力向上対策事業を実施した。

##### ①スポーツ特別指導員配置事業

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを「スポーツ特別指導員」として滋賀県スポーツ協会で 29 人（令和 5 年度新たに 21 人）を雇用し、滋賀県選手として自らの競技力向上に努め、各大会に出場した。また、拠点校等において県内選手の育成・指導に従事した。

・スケート競技(スピード・ショートトラック) 4 人	・卓球競技 3 人
・アイスホッケー競技 1 人	・フェンシング競技 2 人
・スキー競技(クロスカンтриー競技) 2 人	・柔道競技 1 人
・陸上競技 1 人	・バドミントン競技 2 人
・水泳競技(飛び込み) 2 人	・スポーツクライミング競技 2 人
・体操競技(競技) 2 人	・カヌー競技(スラローム) 1 人
・セーリング競技 1 人	・ボウリング競技 2 人
・ハンドボール競技 1 人	・トライアスロン競技 2 人
	合計 29 人



②高校生トップアスリート支援事業

本県の代表として活躍が期待できる競技力の高い選手を令和5年度42人指定し、競技活動を支援することを目的として補助金を交付した。

また、令和6年度(滋賀国スポ・障スポターゲットエイジ)対象の選手29人を指定した。  
(サッカー、ローイング、バレーボール、新体操、バスケットボール、レスリング、スケート、柔道、ソフトボール、バドミントン、剣道、ラグビーフットボール、カヌー、アイスホッケー)

2) ジュニア世代の育成

①次世代アスリート発掘育成プロジェクト 滋賀レイキッズ (県受託事業)

次世代のトップアスリート育成を目指し、運動能力に優れた子供たちを発掘し、身体能力

- ・ 知的能力の開発や様々な競技体験を通じ、ジュニア選手を育成する事業に取り組んだ。
- ・ 第10期生セレクトプログラム 合格者…42人 (男子21人、女子21人)

回	期日	会 場	受検者数
1	6/18	長浜市民体育館	30人
2	6/24	東近江市総合運動公園布引体育館	43人
3	7/ 2	ウカルちゃんアリーナ (県立体育館)	116人
4	7/15	野洲市総合体育館	85人
			計 274人

・ 育成プログラム

競技体験プログラム

	体 験 競 技 (参加人数)
9期生	ライフル射撃競技 (36人)
	なぎなた競技(女子のみ) ( 8人)
	ボウリング競技 (27人)
	ラグビー競技(女子のみ) ( 8人)
	スケート・アイスホッケー競技 (25人)
	カヌー競技 (32人)
	ローイング競技 (26人)
	ホッケー競技 (22人)
	アーチェリー競技 (23人)
	フェンシング競技 (15人)
	ウェイトリフティング競技 (10人)
10期生	スポーツクライミング競技 (35人)

その他プログラム

	プログラム名 (参加人数)
9期生	・ 身体・知的能力開発プログラム(4回) (95人)
	・ 食育プログラム(2回) (50人)
	・ 競技観戦プログラム (21人)
	・ 合宿プログラム (29人)
10期生	・ 身体・知的能力開発プログラム(3回) (90人)
	・ 食育プログラム (37人)
	・ 合宿プログラム (40人)

②湖上スポーツ育成強化対策

県競技力向上対策本部の補助事業として、本協会が指定管理者である関西みらいローイングセンター (県立琵琶湖漕艇場) ・ 県立柳が崎ヨットハーバーを拠点としたボート・カヌー・セーリング競技の強化事業を行った。

ボート・カヌー競技 計6事業 開催回数：972回 参加人数：6,376人  
セーリング競技 計1事業 開催回数： 5回 参加人数： 36人

### 3) 優秀指導者の育成

#### ・指導者養成講習会

公認コーチ1養成講習会（フェンシング）	参加者 16人
公認コーチ1養成講習会（ソフトボール）	参加者 31人
公認コーチ1養成講習会（アーチェリー）	参加者 53人
公認コーチ1養成講習会（水泳）	参加者 7人

## 2. 国民体育大会等派遣事業

### 1) 国民体育大会選手等派遣事業

#### ①特別国民体育大会派遣（鹿児島県）

男女総合成績（天皇杯得点）：17位（1199.0点）

女子総合成績（皇后杯得点）：15位（669.5点）

#### ②第78回国民スポーツ大会冬季大会派遣（北海道・山形県）

（冬季大会終了時点）

男女総合成績（天皇杯得点）：22位（76点）

女子総合成績（皇后杯得点）：12位（49点）

大会名	会場	期日	派遣人数
特別国民体育大会	鹿児島県	9/16～24 10/7～17	32競技 417人
第78回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	北海道苫小牧市	1/27～2/3	2競技 45人
第78回国民スポーツ大会冬季大会 スキー競技会	山形県山形市、 上山市、最上町	2/21～24	1競技 35人

### 2) 国民体育大会近畿ブロック予選大会派遣事業

#### ①近畿ブロック大会（兵庫県）

種目数 123

突破数 54

突破率 43.9%

#### ②アイスホッケー競技 近畿ブロック大会（成年男子） 予選敗退

#### ③フィギュア競技 全国予選会（少年女子・成年女子） 予選敗退

#### ④アイスホッケー競技 北信越・東海・近畿ブロック予選会（少年男子） 国スポ出場権獲得

大会名	会場	期日	派遣人数
特別国民体育大会 近畿ブロック大会	兵庫県 <small>（一部 滋賀県、大阪府、京都府）</small>	6/22～9/3	31競技 779人
第78回国民スポーツ大会冬季大会 近畿ブロック大会アイスホッケー競技会	兵庫県	12/2～10	1競技 31人
第78回国民スポーツ大会冬季大会 フィギュア競技 全国予選会	山梨県	12/2～3	1競技 6人
第78回国民スポーツ大会アイスホッケー 競技会北信越・東海・近畿ブロック 予選会	愛知県	12/16～17	1競技 25人

**収 益 事 業**

I 公益目的事業以外での施設の提供および駐車場・自動販売機収益事業

1. 特定の団体が会員等を対象に開催する事業等

1) 使用者が入場料またはこれに類する金銭を徴収する興行事業、および特定団体、個人会員等を対象とする催し目的の施設利用

施 設 名		
県立体育館	長浜ドーム	アイスアリーナ
3,690人(22,241)	624人(623)	12,104人(6,685)
16,418人(29,549)		

( )内は令和4年度実績

2) 駐車場提供と自動販売機による収益事業

駐 車 場		自動販売機
県立武道館	ヨットハーバー	
14,635台(12,805)	3,867台(3,905)	31台(27)
18,502台(16,710)		

( )内は令和4年度実績

**堅実な組織運営を継続的に推進する事業**

I 事業・組織を運営する仕組み

各専門委員会を中心に事業の企画・立案はもとより、必要に応じてワーキンググループや検討委員会等を設置し、具体的な事業目標や実施方法を確立し事業内容・規模の更なる充実に努めた。

一方、これら諸事業の一層の充実と発展を図るためには、安定した財政基盤の確立はもとより各種事業を広く県民にアピールし理解と支援を得ることが重要であることから、協会事業の積極的なPR活動に努め、行政機関や企業・個人などを対象に賛助会員の募集・拡充に努めた。

1. 主体的・自主的な法人の経営

1) 専門委員会の開催

第1回総務委員会	令和5年5月23日(火)	県農業教育情報センター	出席者 6人
第2回総務委員会	令和5年5月9日(水)	県農業教育情報センター	出席者 6人
第3回総務委員会	令和6年2月28日(水)	県農業教育情報センター	出席者 5人
スポーツ基金委員会	令和6年2月9日(金)	県農業教育情報センター	出席者 5人
第1回広報委員会	令和5年5月24日(水)	県農業教育情報センター	出席者 5人
第2回広報委員会	令和6年2月20日(火)	県農業教育情報センター	出席者 7人
生涯スポーツ委員会(常任委員会)	令和6年1月24日(水)	県農業教育情報センター	出席者 11人

2) 経営改善会議(各指定管理施設長会議)

第1回経営改善会議	令和5年4月26日(水)	彦根総合スポーツ公園	出席者 14人
第2回経営改善会議	令和5年7月19日(水)	県農業教育情報センター	出席者 14人
第3回経営改善会議	令和5年12月26日(火)	県農業教育情報センター	出席者 14人
第4回経営改善会議	令和6年3月15日(金)	県農業教育情報センター	出席者 14人

3) コンプライアンス委員会

令和5年7月19日(水) 県農業教育情報センター 出席者 14人

4) 県民総スポーツ普及振興事業評価委員会

令和6年2月19日(月) 県農業教育情報センター 出席者 30人

## 5)国民体育大会結団・壮行式

会期前 令和5年9月 7日(木) ピアザ淡海  
本大会・障スポ大会 令和5年9月21日(木) びわ湖ホール  
冬季大会(スケート競技会・アイスホッケー競技会)  
令和6年1月12日(金) 県農業教育情報センター  
冬季大会(スキー競技会)  
令和6年2月21日(水) 現地宿舎

## 6)国民体育大会報告会・スポーツ協会 表彰式

令和5年11月21日(火) びわ湖大津プリンスホテル 表彰者 47名  
1団体

## 7)加盟団体育成・サポート事業

当協会が共催する加盟団体事業への賠償責任保険加入

## 8)賛助会員の拡充

団体会員 154団体(147) 個人会員 77人(75) 合計 231会員(222)

## 9)その他事業

### ・要望活動

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた滋賀県競技力向上推進計画の積極的な実施、生涯スポーツ社会の実現に向けた環境整備、学校部活動の地域移行に係る支援、県立社会体育施設の整備・充実等、本協会会長、副会長等が6月～10月に知事、県議会議長等、県関係者に要望を行った。

### ・日本スポーツ協会諸会議(リモート開催等)

### ・近畿2府4県諸会議他

## 2. 協会運営等諸会議

### 1)理事会

第1回理事会 令和5年6月1日(木) コラボしが21 理事出席21人 監事出席2人  
第2回理事会 令和5年9月21日(木) ピアザ淡海 理事出席21人 監事出席2人  
第3回理事会 令和6年3月6日(水) コラボしが21 理事出席20人 監事出席2人

### 2)評議員会

定時評議員会 令和5年6月16日(金) コラボしが21  
評議員出席23人 理事出席3人 監事出席2人  
臨時評議員会 令和6年3月26日(火) コラボしが21  
評議員出席22人 理事出席3人 監事出席2人

### 3)加盟団体理事長・事務局長会議

令和5年4月15日(土) ピアザ淡海 出席者105人

### 4)加盟団体研修会

令和5年9月28日(木) WEB研修会 参加者36人

## 3. 持続可能な財政基盤の確立

加盟団体負担金の徴収や賛助会員の拡充など自主財源の獲得に努めた。

電気料金の高騰による支出の増については、県より一定の金額を支援いただいた。

### 1)自主財源等の拡充

#### ①加盟団体負担金：73団体からの負担金

競技団体(54団体)・学校教育関係団体(3団体)・郡市スポーツ協会(16団体)

#### ②賛助会費：団体および個人からの会費(再掲)

団体会員 154団体 (147)

個人会員 77人 (75)

合計 231会員 (222)

### ③その他の収益事業

広告料収入：「Bispo!+」への広告掲載

コカ・コーラ、スポーツ安全協会、滋賀県スポーツ少年団、企業スポーツ振興協議会  
滋賀県民共済生活協同組合

特定事業協賛金：2025 滋賀国スポ記念講演会  
スポーツ安全協会

## 4. 組織力の向上と人材の育成

経営改善会議や事務局会議の充実を図り、組織目標や事業実施方針等を組織全体で共有し、中期経営計画の目標達成に向けて、PDCAサイクルを確実に進め、組織力の向上に努めた。

また、安全のための救命救急研修や新しい実技研修を行い、職員の資質向上に努めた。

1)救命救急研修（プロバイダー）	1回	出席者 21人
2)新任・新採職員研修	1回	出席者 22人
3)スポーツ施設運営士養成講習会	1回	出席者 24人
4)新規採用職員研修	1回	出席者 1人
5)主査級3年目研修	1回	出席者 1人
6)シニア職員研修	1回	出席者 2人
7)スキルアップ研修	1回	出席者 3人
8)県スポーツ協会職員研修	1回	出席者 22人
9)人権教育研修	2回	出席者 9人
10)全国公益法人協会研修等	3回	出席者 6人
11)シェアミーティング	1回	出席者 18人

## 5. 創立 100 周年記念事業に向けた取り組み

滋賀国スポ・障スポ大会が1年延期になったことを受け、令和8年に当協会の100周年記念事業を開催する予定とし、専門委員会にて検討をはじめた。